



カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・自社HPで、“環境に関する方針とプロセス”に関する情報を公開している。												12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・ソーラーライトの設置と利用など、グリーン電力の使用に努めている。								7.2					13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・自社HPの環境・社会貢献に関するページで、不法に産出された原材料の調達や使用を禁ずる旨を公開している。													12.2	13	14	15				
22	公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、HPや就業規則等にも明示し、社内浸透を図っている。																	16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範を整備し、HPや就業規則等にも明示し、社内浸透を図っている。																			16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標等知的財産権の取得、管理を行っている。 ・HPで、知的財産の保護に関する対策や措置を公開している。										8.2	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報に対する基本方針を定めて、体制整備や社内周知徹底を行っている。 ・顧客情報等に関する情報セキュリティ研修も実施。																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5					8		10		12	13	14	15	16	17	
28		製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・すべての製品において、安全確保の観点から踏まえた取扱説明書を作成している。 ・製品の設置時、使用時に想定されるリスクを社内共有し、安全対策を実施している。			3.9										12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している		基本	・顧客や販売店からのクレームや不具合対応など、品質保証課において保証する仕組みを構築している。 ・社内プラットフォームにて、常に顧客や販売店の声を社内共有できる体制を整備している。																				9
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる		チャレンジ	・ペーパーレス等に寄与できる環境に配慮した製品の販売やサービスの提供を行っている。							6							12	13	14	15			
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		チャレンジ	・長時間労働の是正やコロナ感染予防対策等の社会課題を解決する製品の販売やサービスの提供を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・日頃から地域とのつながりを大切にきた対応を行っている(近隣保育園行事での駐車場貸与等)。				4									9		11	12		14	15		17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・長野県庁や松本市役所、近隣大学等に製品の寄付を行っている。 ・就労継続支援事業所にマスク等の作製を依頼し、就労支援を行っている。				4												11				14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外販)している	チャレンジ	・積極的に地域の人的資源の雇用を続けている。													8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念や目標等、会社が目指すべき方向性を明文化している。 ・経営者が適時、経営理念や経営目標を社員に説明し、共有している。													8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内全体会議や社内プラットフォームにて、法令遵守の重要性を全社員に向けて発信している。																							16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・CSRに留意し、HPなどに明文化し、責任者(担当役員)を任命している。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと話し合いをし、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切な対応に努めている。																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクを洗い出し、随時、経営陣や管理職が適切な対策を講じている。																							16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSRに留意し、HPなどに方針を明文化し、責任ある対応、行動に努めている。																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ																9		11		13 13.1				16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ															8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
  - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)